



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



2022年12月2日朝刊

シラスウナギ漁が解禁となり、波打ち際で手網を入れる採漁者
＝1日午後8時すぎ、磐田市の天竜川河口



ニホンウナギの稚魚「シラスウナギ」の漁が1日、県内で解禁され、浜松市、磐田市の天竜川河口周辺などで漁が始まった。漁期は来年4月末まで。

採捕者は日没に合わせて波打ち際へ向かうと、手網で海水をすくった。気温が10度を下回り、

寒風が吹き荒れる中、午後8時すぎから、体長5〜6センチ、重さ0.2センチほどの細長いシラスウナギが捕獲された。磐田市竜洋しらす鰻採捕組合の相場美組合長(53)は「昨年が厳しかった分、今年は(好漁を)期待したい」と話した。

記事を読んで、問いに答えましょう。

- ①「シラスウナギ」とは何のことをいいますか。
()
- ②「シラスウナギ」の漁はどんなところで行われますか。
()
- ③この漁で捕獲した「シラスウナギ」の体長と重さはそれぞれどれくらいですか。
体長()
重さ()
- ④「シラスウナギ」の漁について、どんな悩みがありますか。30字以内にまとめて書きましょう(句読点を含みます)。

シラスウナギ 県内で漁解禁 来年4月末まで



網にかかったシラスウナギ11日午後8時すぎ、磐田市の天竜川河口

シラスウナギ漁は全国24都府県で行っていて、県内は有数の水揚げを誇る。だが、22年漁期(21年12月〜22年4月)の漁獲量は解禁直後の12月が2.9キロと低調だったことが響いて9.5キロにとどまり、記録的不漁だった19年(4.78キロ)以来の1000キロ割れとなった。20年は1638キロ、21年は1260キロと、回復の兆しを見せていた。

今期は19団体の908人(昨年は913人)が県から特別採捕の許可を受けた。ニホンウナギは絶滅が危惧され、稚魚の採捕と養殖量に上限が設けられている。

作問者: 静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏
(小学校高学年～中学校/社会、理科、総合)

年 組 名前

2022年12月2日朝刊

シラスウナギ漁が解禁となり、波打ち際で手網を入れる採漁者
＝1日午後8時すぎ、磐田市の天竜川河口



ニホンウナギの稚魚「シラスウナギ」の漁が1日、県内で解禁され、浜松市、磐田市の天竜川河口周辺などで漁が始まった。漁期は来年4月末まで。採捕者は日没に合わせて波打ち際へ向かうと、手網で海水をすくった。気温が10度を下回り、

寒風が吹き荒れる中、午後8時すぎから、体長5〜6センチ、重さ0.2グラムほどの細長いシラスウナギが捕獲された。磐田市豊洋しらす鰻採捕組合の相場美組合長(53)は「昨年が厳しかった分、今年は(好漁を)期待したい」と話した。

記事を読んで、問いに答えましょう。

- ①「シラスウナギ」とは何のことをいいますか。
(**ニホンウナギの稚魚**)
- ②「シラスウナギ」の漁はどんなところで行われますか。
(**浜松市、磐田市の天竜川河口周辺など(の波打ち際)**)
- ③この漁で捕獲した「シラスウナギ」の体長と重さはそれぞれどれくらいですか。
体長(**5〜6センチ**)
重さ(**0.2グラムほど**)
- ④「シラスウナギ」の漁について、どんな悩みがありますか。30字以内にまとめて書きましょう(句読点を含みます)。

回復の兆しを見せてはいるが、解禁直後の漁獲量が低調なこと。(29字)
絶滅を防ごうと稚魚の採捕と養殖量に上限が設けられていること。(30字) など

シラスウナギ 県内で漁解禁 来年4月末まで



シラスウナギ漁は全国24都府県で行っていて、県内は有数の水揚げを誇る。だが、22年漁期(21年12月〜22年4月)の漁獲量は解禁直後の12月が2.9キロと低調だったことが響いて9.5キロにとどまり、記録的不漁だった19年(4.78キロ)以来の1000キロ割れとなった。20年は1638キロ、21年は1260キロと、回復の兆しを見せていた。今期は19団体の908人(昨年は913人)が県から特別採捕の許可を受けた。ニホンウナギは絶滅が危惧され、稚魚の採捕と養殖量に上限が設けられている。

網にかかったシラスウナギ11日午後8時すぎ、磐田市の天竜川河口

年 組 名前